

(平成 30 年 1 月試験研究業務月報)

試験研究課題：丹後国営開発農地における加工用ニンジンの大規模露地栽培技術の確立  
(平成 29 年度国産原材料供給力強化支援事業)

研 究

## ニンジンジュースの食味評価を実施

丹後国営開発農地では、加工原料となるダイコン、キャベツ等の産地化が進められています。そこで、丹後農研では、ジュース等の加工品原料となるニンジンについて、品種、栽培方法の検討をしています。

昨年検討した品種のうち収量が高かった「愛紅」、「オレンジ」について、追肥を行う慣行施肥と、緩効性肥料を利用する基肥のみの施肥を検討しました。収穫したニンジンはジュースに加工し、12 月末から 1 月上旬に開催した試飲会で府職員等 127 名の方々に、味などの評価をしていただきました。品種の違いでは「オレンジ」の甘み、おいしさ評価が優り、施肥法では緩効性肥料区の風味、おいしさ評価が優りました。最も評価が高かったのは「オレンジ」の緩効性肥料区となりました。

食味の評価と収量等栽培試験の結果をもとに、開発農地に適した加工用ニンジンの品種、栽培法を選定します。



真剣に味の評価を行う（12 月 27 日 丹後振興局）

農林センター（丹後農業研究所）